

## 丹後国営開発農地における聖護院ダイコンの品質向上技術

農林センター 丹後農業研究所

### 要 旨

丹後国営開発農地における聖護院ダイコンの生育中期以降の根部肥大不足対策として、播種後30～60日の間、土壤水分を18～21%程度に保つようかん水すると、根の肥大及び秀品率が向上する。

### 成果の概要

播種後30～60日の間、土壤水分を18～21%程度に保つようかん水すると、慣行（土壤水分9～15%）と比較して肥大が良好になり根重が10%向上し、秀品率も30%向上する。（図1、表1）

好適水分を保つには、降雨が無い場合、3日ごとに5mm程度をかん水すると良い。

上記のかん水量で、土壤水分が好適に保たれているかどうかを確認するためには、指導機関等に設置された携帯可能な土壤水分センサー（ECH<sup>2</sup>0プローブ）を用い、地表12cm深を測定する。

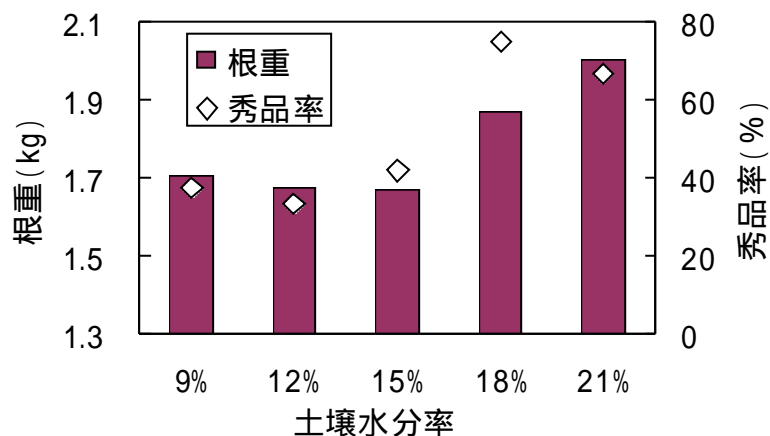


図1 播種後30～60日の土壤水分（地表12cm深）が根重・秀品率に及ぼす影響

表1 収穫時の根長、根径の比較

土壤水分 (%)	9	12	15	18	21
根長 (cm)	15.6	16	15.8	16.2	17.1
根径 (cm)	13.9	13.9	14.1	14.8	14.8

（問合せ先：0772-65-2401）